

LINE分析 月次記録キット

分析タブを毎月10分見て、手元に記録を積み上げるための7枚

この7枚でできること

- ☐ 毎月5つの数字を写し、前の月との差で判断できる
- ☐ 数字が出ないときに、仕様か不具合かを見分けられる
- ☐ 消える前にダウンロードする日を、予定表で決められる
- ☐ 有償通数を種類別に分けて、減らす計画を書ける

使う順番

毎月同じ日に2ページを写す → 3ページの順番で見る
→ 数字がおかしければ4ページ → 2か月に1回5ページ
でダウンロード → 6ページで通数を見直す → 7ページ
に直したことを1つ書く。

目次

2	毎月の記録表 5つの数字と、見た期間と集計完了日を12か月ぶん。写す場所の一覧
3	見る順番と、各メニューで見るところ 毎月の3つと、変えた月だけ見る7つ。7日間と30日間の使い分け
4	数字が出ないときの診断表 開封が0、昨日の数字が無いなど7つの症状。集計のタイミングの一覧
5	あとから取り戻せない数字と、ダウンロードの予定表 90日、60日、397日、36カ月の区切りとVOOMの削除。2か月に1回の予定表
6	有償通数の内訳と、減らす計画 有償と無償の表、種類別の通数の記入欄、無償の場所へ移す計画
7	1か月に1つだけ直す改善メモ 悪くなった1つと直したことの記録。LINE Tagを入れるかの判断表

数字と決まりの出どころ

この資料の数字、仕様、画面の項目名は、講座の記事本文に書いたものだけです（記事の確認時点。公式マニュアル各ページと、2026年9月5日に確認した管理画面のお知らせ）。仕様は変わることがあり、2027年2月頃の変更のように日程が動く可能性が明記されているものもあります。気になったら管理画面のお知らせと公式マニュアルを開いてください。

毎月の記録表

管理画面は過去を全部持っていてくれない。月に1回、1行ずつ足す

月に1回、同じ日に、この5つを写します。**見るのは数字そのものではなく前の月との差**です。どちらの期間（7日間か30日間か）で見たかも必ず書きます。先月は30日、今月は7日を見て「減った」と判断するのが、いちばんよくある間違いです。

月	友だち追加 (累計)	ターゲット リーチ	ブロック (累計)	その月の 有償通数	その月の 平均開封率	見た期間 (7日/30日)	集計完了日	前の月より悪く なった1つ
記入例	263	242	21	1,850	34%	30日		(あれば1つだけ)
月								
月								
月								
月								
月								
月								
月								
月								
月								
月								
月								
月								

写す項目	管理画面の場所
友だち追加、ターゲットリーチ、ブロック	分析 → 友だち
有償通数	分析 → メッセージ通数の「有償タイプ」。Messaging APIで配信した通数は別に表示されるので、外部ツールを入れているなら足す
開封率	分析 → メッセージ配信
集計完了日	画面上に表示されている。どこまでの数字が確定しているかはここで見る

記入例の数字は記事に載せた例です。半年たつと、季節の波と、施策を打った月の効果が見えるようになります。

見る順番と、各メニューで見るところ

毎月3つ。ほかは何かを変えた月だけ

毎月この順番で、10分 → 1 友だち（増えた数と、ブロックした数の比） → 2 メッセージ通数（今月いくら使ったか） → 3 メッセージ配信（開封率とクリック率を前の月と比べる）。毎月全部を見ようとする続きません。

メニュー	ここだけ見る	いつ	今月の数字やメモ
友だち	増えた数とブロックした数の比	毎月	
メッセージ通数	有償タイプの合計	毎月	
メッセージ配信	開封率とクリック率。前月比で見る	毎月	
あいさつメッセージ	クリック率。低いなら入口が弱い	変えた月	
リッチメニュー	枠ごとのクリック。押されない枠は入れ替える	変えた月	
ステップ配信	何通目で反応が落ちるか。そこだけ書き直す	変えた月	
チャット・自動応答	受信した数と、応答メッセージが返った数	変えた月	
クーポン	開封に対する使用の割合	変えた月	
ショップカード	発行数より、ゴールまで到達した人の数	変えた月	
プロフィール	閲覧数。検索から来ているかの目安	変えた月	

7日間と30日間、どちらで見るか

見るもの	期間	理由
友だちの増減	30日間	1週間だと1人か2人の差しか出ず、増えたのか減ったのか判断できない
ブロック	30日間	日単位のブレが大きすぎる
メッセージ通数	30日間	プランの上限が月単位で決まるため
配信ごとの開封とクリック	7日間	配信の直後に反応が集中するので、長く取ると薄まる

迷ったら30日間。7日間は「いま送った配信がどうだったか」を見る窓で、アカウントの調子を見る窓ではありません。使っていない機能のメニューは、数字が出ないだけです。

数字が出ないときの診断表

不具合ではなく仕様。読み違えると、直さなくていいものを直す

起きていること	理由（公式の仕様）	どうするか
開封が「0」になっている	結果が20未満だと開封は「0」と表示される	本当に0とは限らない。内容が悪いと判断して直さない
開封以外の指標が「一」	結果が20未満だと「一」と表示される（配信の数だけは実数値）	同上
経路の内訳が「その他」ばかり	日ごとに20以上の追加がないと数値が出ない。期間内の合計が20未満の経路は「その他」に寄せられる	友だちが数百人なら、細かい内訳は見えない。全体の数字で判断する
フィルターで絞ると数字が丸い	絞り込むと50単位の概算値になる	細かい差を読まない
昨日の数字が無い	ほとんどの機能は前日分がおよそ翌日正午まで。プロフィールは翌々日	集計完了日を見る
属性の人数が実際と合わない	属性は推定値で、反映まで約3日。表示は約3日前の数値	絞り込み配信の人数がずれるのもこれ
半年前の経路と比べられない	経路は最大90日、ダウンロードは最大60日	2ページの記録表と5ページの予定表で残す

集計のタイミング（公式の一覧から）

機能	集計の頻度	見られるようになるタイミング
友だち（概要）	1日に複数回	随時更新
友だち（属性）	1日に1回	反映まで約3日。表示は約3日前の数値
友だち（追加経路）	1日に1回	前日分はおよそ翌日正午まで
プロフィール	1日に1回	前日分はおよそ翌々日正午まで
メッセージ配信	1日に複数回	随時更新
メッセージ通数、ステップ配信、あいさつメッセージ、リッチメニュー、クーポン、ショップカード	1日に1回	前日分はおよそ翌日正午まで

見られないもの → 既読の数は見られない（開封は吹き出しを100%表示した時点で数え、トークルームを開かずに既読にされた場合は数えない）。誰が開封したかも分からない（分析の数字と個々のユーザーは結びつかない。公式のガイドラインにも友だちの情報は一切開示できないと明記）。

自分のアカウントで当てはまったもの（次に同じことで迷わないために）

日付	見た画面と、出なかった数字	上の表のどれだったか

あとから取り戻せない数字と、ダウンロードの予定表

過ぎた分は誰にも戻せない

取り戻せないこと	公式の書き方	先にやること
友だち追加経路は90日より前を見られない	最大90日	2ページの記録表に毎月写す
ダウンロードは60日より前を取り出せない	最大60日。過ぎた分は取り出せない	2か月に1回はダウンロードする（下の予定表）
友だちの概要は397日より前を見られない	最大397日	毎月写す
2027年2月頃から、分析の実績値は過去36カ月まで	管理画面のお知らせで告知（2026年9月3日掲載、9月5日に確認）。日程は変わる可能性あり。作成済みのメッセージなど、ほかのデータには影響しない	3年より前の数字が要りそうなら、いまのうちにダウンロード
LINE VOOMのメニューは2026年9月16日に削除	LINE VOOM自体が2026年9月30日で終了するため。削除後もLINE VOOM Studioの分析で一定期間は確認できると公式に記載	ダウンロードの対象外なので、画面を見て手で記録するかStudio側で取る
CSVの友だちの属性は最新のデータだけ	過去の属性は取り出せない	属性の推移を見たいなら毎月写す
CSVで取り出せない機能がある	LINE VOOM、クーポン、LINEコールPlus は対象外	クーポンは画面を見て3ページのメモ欄に写す

ダウンロードの予定表（2か月に1回）

「分析」の「ファイルをダウンロード」から、各機能の結果をCSVで取り出せます。友だち追加経路の画面にも個別のボタンがあり、「概要」（経路ごとの追加数とブロック数）と「日次データ」（日ごとの追加経路・追加数・ブロック数）の2種類が取れます。

予定日	取った日	取り出した機能	対象の期間（最大60日）	保存した場所

有償通数の内訳と、減らす計画

有償は3つだけ。減らす打ち手は1つに絞れる

有償か無償か（公式の表）

メッセージの種類	有償か
配信（すべての友だち）	有償
配信（絞り込み）	有償
ステップ配信	有償
応答メッセージ	無償
あいさつメッセージ	無償
チャット	無償
AIチャットボット（β）	無償
メンバーシップ	無償

メッセージ通数の画面に出る3つ

表示	中身
合計	配信したすべての通数
有償タイプ	Paidマークが付いた通数。プランの無料枠と、超過した追加メッセージの両方を含む
種類別	どの機能で何通使ったか

有償なのは配信とステップ配信だけ。通数を減らす打ち手は、配信の回数か、送る相手の数を減らすことの1つです。

今月の有償通数を分ける（種類別の数字を写す）

種類	今月の通数	先月の通数	来月どうするか
配信（すべての友だち）			
配信（絞り込み）			
ステップ配信			
Messaging APIで配信した通数（外部ツール）			
合計			

減らしたぶんを、無償の場所で埋める

あいさつメッセージ、応答メッセージ、リッチメニューを厚くしておくで、配信の回数を減らしても情報は届きます。

配信をやめる内容	移す先	移したあとの書き方	移した月

1か月に1つだけ直す改善メモ

悪くなった1つを選び、原因を1つ直す

先月より悪くなったのはどれかを1つだけ選び、その原因を1つだけ直します。リッチメニューは枠ごとのクリックが見えるので、押されていない枠を月1回入れ替えるだけで全体のクリックが上がります。ステップ配信は何通目で落ちるかだけを見て、そこだけ書き直します（3通目で急に落ちるなら、そこで売り込みが早すぎる）。

月	悪くなった1つ（2ページの右端）	考えた原因	直したこと	翌月の数字
月				
月				
月				
月				
月				
月				
月				
月				
月				
月				
月				
月				

サイトの成果までつながか（計測タグとLINE Tag）

分析タブで見られるのはLINEの中で起きたことだけです。計測タグとLINE Tagを入れると、メッセージ配信の分析に「コンバージョンユーザー」と「コンバージョン率」の欄が出ます。Webサイトにコードを設置する作業が要ります（講座の計測タグの回）。

状況	判断	自分は
サイトで申し込みや購入を受けている	入れる価値がある	
来店や電話が中心	優先度は低い	
まだ友だちが数百人	先に友だちを増やすほうが早い（20未満だと数字が出ないため）	